

実践型アートマネジメント・人材育成プログラム「藍の学校」成果展

藍より出づ

2024年藍の学校琉球篇

Ai yori izu

Ai no gakkō

壓縮され、格納されているアーカイブ。

藍の音は、限りない過去の人々の思いが、



2025年1月18日(土)ー27日(月)

開館時間：午前10時ー午後5時(入場は閉館の20分前まで)

会期中無休

主催：学校法人瓜生山学園 京都芸術大学

企画：藍の学校

京都芸術大学 芸術館

人間館
ギャルリ・オーブ2階

入館無料

Project to learn Kougei through Indigo



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS
学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学

大学から
文化力
POWER OF CULTURE



令和6年度文化庁
「大学における文化芸術推進事業」



藍の学校
Project to learn Kougei through Indigo

本学では令和6年度大学における文化芸術推進事業「受け継ぐ、伝える、伝統文化を未来へ生かす実践型アートマネジメント・人材育成プログラム-藍の学校-」に取り組みました。

今年度のテーマは「産地と伝統工芸」とし、琉球藍の産地、沖縄を舞台にフィールドワークを開催しました。琉球藍、引箔、漆の職人、芭蕉布作家、西陣織デザイナー、布構成家、写真家、ライターなど第一線で活躍する講師の指導のもと、伝統工芸を写真や文章で伝えるインタビューや、これまでに無い「藍と漆の融合」による「藍漆」を製作し、それを引箔の技法で漆糸へと変え、西陣織を製作しました。芭蕉布の糸や、琉球藍などの素材、西陣織から制作したプロダクト。制作の舞台裏である、道具や資料の展示。藍を種から蒔き、育成をする「藍を愛でる」では成長を記録した愛でる日記や、受講生が育成した藍の葉で染めた美しい布を展示します。

会期中のプログラム



Program 01

対面講演会 TSUNAGU.US #2 テーマ:「JAPAN BLUE -藍について-」



会場: 京都芸術大学 相照館/定員: 各日程先着100名・要申込/参加無料

東アジア地域の藍文化を通して、地域・民族との繋がりをそれぞれの視点から講演します。講演会場では、鳥丸知子先生のコレクションや、山崎和樹先生が染められた天然染料の美しい布を実際に見る事ができ、同フロア内の別会場では四国大学「藍の家」のコレクションの一部を展示します。

2025年1月18日(土)

第1回 | 13:00-14:40

中国貴州省・ミャオ族の藍



鳥丸知子 TORIMARU Tomoko
染織研究家/北京服装学院大学客員教授

中国・貴州省のミャオ族は、独自の言語は有りますが文字は無く、アイ草による染色や独特な加工、ろうけつや絞りなどの染色技術が民族の独自性の継承に大きな役割を果たしてきました。日常生活の中で行われて来たミャオ族の染色を事例に、「ものづくりの原点」について考えます。



◀1月18日(土) 申し込みフォーム
<https://forms.gle/Z2NW4Wbf1PCQzZ8>

第2回 | 15:20-17:00

藍染と日本の色



山崎和樹 YAMAZAKI Kazuki
草木染研究家・草木工房主宰

藍は植物染料の中でも独特な方法で染色されます。発酵建てによる藍染(酸化還元反応)では絹、麻、木綿によく染まりますが、藍の生葉染(酵素反応)では絹によく染まりますが木綿には染まりにくい。この理由は染色メカニズムの違いから説明できます。また、藍と他の植物染料の色素構造を比較しながら藍染の特徴について解説します。

2025年1月19日(日)

第3回 | 13:00-14:40

沖縄の藍



大湾ゆかり OWAN Yukari
沖縄県立博物館・美術館主任学芸員

私は、学生時代に沖縄島北部山中に残る「藍壺」の遺構と出会い、沖縄の換金作物として盛栄を博していた琉球藍の製藍業に興味をもちました。この講義では、主に琉球藍の製藍業がどのような社会背景の中で営まれたのか、その歴史と製藍技術の変遷などについてお話したいと思います。



◀1月19日(日) 申し込みフォーム
<https://forms.gle/dUfkMeF4jK1PGwNn6>

第4回 | 15:20-17:00

阿波藍・四国大学「藍の家」の取り組み



有内則子 ARIUCHI Noriko
四国大学 生活科学部人間生活科学科准教授
徳島県藍染研究会事務局

「阿波藍」とは藍染料「蓼(すくも)」を指します。徳島県にある四国大学では地域の伝統文化・産業の継承を目的に「阿波藍」を教育・研究に取り入れて40年が過ぎました。活動の拠点となる「藍の家」には国内外から藍に関心のある人々が集い、共に学んでいます。「藍の家」の近年の取り組みと「阿波藍」の現状を紹介します。

ギャラリーツアー 2025年1月26日(日) ①11:00-②14:00-



定員: 各回20名・要申込/参加無料/所要時間: 1時間程度

申し込みフォーム▶

実践プログラム Study room の受講生と梅崎由起子、オオニシカナコによるギャラリーツアーを開催します。

お問い合わせ:

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 藍の学校lab.

Mail info@ainogakko.jp

HP <https://ai-no-gakko.kyoto-art.ac.jp/>



WEB



Instagram



Facebook



X

受け継ぐ、伝える、伝統文化を未来へ生かす。新しさは、受け継ぐことを通じて生まれてくる。

監修 | 吉岡洋(美学者・京都芸術大学教授)
会場構成 | 藤井良平(デザイナー・京都芸術大学専任講師)
企画 | 藍の学校
主催 | 京都芸術大学



【実践プログラム講師】

池原幹人(藍職人・沖縄県立芸術大学非常勤講師)
出射優希(ライター)
大城あや(芭蕉布作家・沖縄県立芸術大学非常勤講師)
大辻都(アートライティング・京都芸術大学教授)
オオニシカナコ(染めもの作家)
賀川理英(紅型作家・紅型だいたい)
河田憲政(フォトグラファー・京都芸術大学専任講師)
亙保聡(紅型作家・びんがた工房くんや)
木村俊介(ノンフィクション作家・京都芸術大学准教授)
佐藤貴彦(漆・佐藤善代松商店代表取締役)
白須美紀(エッセイライター)
田口葉子(写真家)
中澤千果(西陣織・和工房明月)
西村尚門(藍師・染師)
丹羽裕美子(布構成家)
本田みのり(デザイナー)
松井利夫(陶芸家・京都芸術大学教授・滋賀県立陶芸の森館長)
三田村有芳(漆芸家・京都芸術大学大学院准教授)
村田紘平(西陣織・製紙部門・伝統工芸士)
梅崎由起子(藍染作家・京都芸術大学専任講師)

Map:



瓜生山キャンパス(京都)

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

電話: 075-791-9122 (代表)

Access:

市バスは全て「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車

●JR「京都駅」より 市バス5系統/岩倉行(約50分)

●地下鉄「北大路駅」(北大路バスターミナル)より

市バス204系統循環 銀閣寺方面(約15分)

※地下鉄北大路駅へはJR京都駅より約15分

●京阪「出町柳駅」より

市バス上終町3系統/上終町・瓜生山学園

京都芸術大学前行(約15分)

叡山電車(京阪出町柳駅乗り換え)

「茶山・京都芸術大学駅」下車、徒歩約10分

●阪急「京都河原町駅」より

市バス5系統/岩倉行(約30分)

市バス上終町3系統/上終町・瓜生山学園

京都芸術大学前行(約30分)

※所要時間はあくまでも参考としての標準時間です。

天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

